

大津市会計年度任用職員募集要項

【職種：保健師、助産師、看護師 保健総務課】

令和8年度に大津市において採用する会計年度任用職員を募集します。会計年度任用職員とは一般職の地方公務員で、採用されると服務規程(職務専念義務や守秘義務等)が適用されます。

1 募集人数 1人（週35時間勤務）

2 募集職種 保健師、助産師、看護師のいずれか（保健総務課中すこやか相談所）

3 業務内容

保健総務課中すこやか相談所における成人・高齢者保健、母子保健等の業務

- (1) 乳幼児健診、乳幼児家庭訪問
- (2) 健康教育、健康相談
- (3) 生活習慣病予防のための保健指導 等

【業務内容の変更範囲】：なし

4 募集対象

- (1) 保健師、助産師、看護師のいずれかの免許を有すること
- (2) 普通自動車運転免許（AT可）を有すること
※運転免許取得後1年以上経過していること
- (3) パソコン（ワード・エクセル）の操作が行えること
- (4) 窓口や電話等における接遇応対業務に従事可能であること

◎地方公務員法第16条に規定する下記の欠格事項に該当する方は応募できません。

- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの
- ・大津市において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

5 応募受付期間

令和8年1月26日（月）から令和8年2月9日（月）まで

6 応募方法

ハローワークを通じてご応募いただくか、受付期間内に下記の連絡先へ直接電話連絡してください。

選考当日に下記の書類を持参してください。

- ①ハローワーク紹介状（ハローワークを通じて応募される場合）
- ②写真を添付した履歴書

③職務経歴書

④保健師・助産師・看護師の免許証（写し）

⑤普通自動車運転免許証（写し）

※選考の手続きにおいて提出された個人情報については、選考及び任用の手続きに必要な範囲内でのみ使用します。

【受付時間】土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後5時

【連絡先】大津市健康福祉部保健所 保健総務課 地域保健推進室

「会計年度任用職員採用担当者」まで

電話番号：077-522-6755

7 選考日時及び選考会場

令和8年2月13日（金）午前9時30分

大津市保健所 保健総務課（大津市浜大津四丁目1-1 明日都浜大津1階）

8 選考方法

面接試験

※上記6に記載の選考当日の持ち物をお持ちください。

9 結果の発表

受験者本人宛に、選考日から1週間以内に、合否通知を文書で発送します。

10 勤務条件

任用期間	令和8年4月1日から令和8年9月23日まで 採用後、1ヶ月（実勤務日数が15日に満たない場合は15日まで延長）は条件付採用とし、良好な成績で勤務して初めて正式採用されます。
再度の任用	<input type="checkbox"/> 原則あり <input checked="" type="checkbox"/> 原則なし 正規職員の休暇取得等に伴い生じた職であるため、期間限定となります。ただし、令和8年度末まで延長する場合があります。 なお、休業の延長により、翌年度も一定期間同じ職が設置され、勤務成績が良好な場合は、再度任用する場合があります。
勤務地	中すこやか相談所 大津市浜大津四丁目1-1（明日都浜大津5階）
勤務地変更の可能性	なし
勤務日	週5日（月～金曜日） ※事業の実施状況により勤務曜日を休日に変更する場合があります。
休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
休暇	年次有給休暇 5日（任用期間に応じて付与） 特別休暇あり（要件あり）

勤務時間	週35時間勤務（1日7時間×週5日）9時～17時 休憩60分 ※事業の実施状況により8時30分～16時30分や8時40分～16時40分などの勤務時間に変更する場合があります。
基本給	保健師：月額 256,942円～270,989円（地域手当込） 助産師：月額 256,942円～270,989円（地域手当込） 看護師：月額 248,455円～267,380円（地域手当込） 資格取得後の業務経験に応じて決定します。採用決定後に前歴の証明書の提出が必要です。
諸手当	期末勤勉手当の支給はありません。 通勤手当相当（片道2km以上の場合、上限月額55,000円）、時間外勤務手当相当が要件により支給されます。
社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険
災害補償	公務上の災害又は通勤による災害についての補償制度あり
サービス	地方公務員法に規定するサービス及び懲戒に関する規程の対象となります。 営利企業への従事（兼業）は可能ですが、その場合でも職務専念義務や信用失墜行為の禁止等の服務規律は適用となるため、留意してください。（兼業先との所定勤務時間の合計が週40時間を超える場合は職務遂行に支障をきたす恐れがあるため、認められません。）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・給与等支給日：当月20日 ・勤務条件については、関係条例や規則等の改正が行われた場合や、任用期間が変更となった場合、その定めるところにより変更します。 ・36協定における特別条項：あり 「特別な事情」にあたる場合 【臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合】 健康危機に係る事態（医薬品、食中毒、感染症、飲料水、その他何らかの原因により生じる市民の生命、健康を脅かす事態等）が発生し、それに対する健康被害の発生予防、拡大防止等に関する業務が特に集中し、一人当たりの業務が増加し、当日中に処理をしなければならない場合。